

十和田市事務事業評価シート

【事務事業の概要】

整理番号	①-2	実施計画番号	8	事業開始年度	
事務事業名	市民参加による緑化の推進			事業終了年度	
担当課名	都市整備建築課			事務の種類(選択)	自治事務
根拠法令等	緑と花のまちづくり推進条例	関連事務事業			
背景や経緯等	個人の庭園を市民に公開するとともに交流を図るオープンガーデン事業及び緑化関連団体と協働で実施する環境緑化まつり等の事業を推進する。				
事務事業の目的	生活にうるおいとやすらぎを与える緑化や花壇整備等、美化運動についての意識の高揚を図り、市民参加による緑と花のまちづくりを推進する。				
実施状況	最近3年間のオープンガーデン参加件数は、平成25年度23件、平成26年度22件、平成27年度22件 最近3年間の環境緑化まつり参加団体数は、平成25年度8団体、平成26年度8団体、平成27年度7団体				

【人件費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
正職員	従事者数(人)	1	1	1
	活動日数(日)	16	16	16
	人件費(千円)	576	576	576
正職員以外(選択↓)	従事者数(人)	26	26	26
	活動日数(日)	3	3	3
期間業務職員	人件費(千円)	460	460	460

【事業費の推移】

	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
事業費合計(千円)	819	811	806

【指標】

活動指標	活動指標名①	オープンガーデンとわだ開催日数				
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		日	180	180	180	
	活動指標名②	環境緑化まつり開催日数				
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		日	7	5	7	
成果指標	成果指標名①	オープンガーデンとわだ参加数				
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		件	目標値	25	25	25
			実績値	22	22	
			達成度(%)	88%	88%	
	成果指標名②	環境緑化まつり参加数				
	計算式等	単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定	
		団体	目標値	8	7	7
			実績値	8	7	
	達成度(%)		100%	100%		

十和田市事務事業評価シート

【担当課による検証】

ポイント		検証(選択)	評価	点数	合計	検証の理由				
妥当性	①	市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	A 2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">存在意義の見直しの余地</td> <td style="text-align: right; background-color: #ffff00;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">市民に、緑化意識の高揚と市民生活の向上に寄与するとともに、個人や団体の庭づくりを紹介し、地域交流を活性化させることにより緑化の推進をしている。</td> </tr> </table>	存在意義の見直しの余地	0 / 4	市民に、緑化意識の高揚と市民生活の向上に寄与するとともに、個人や団体の庭づくりを紹介し、地域交流を活性化させることにより緑化の推進をしている。	
	存在意義の見直しの余地	0 / 4								
市民に、緑化意識の高揚と市民生活の向上に寄与するとともに、個人や団体の庭づくりを紹介し、地域交流を活性化させることにより緑化の推進をしている。										
②	実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A 2							
有効性	③	活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A 2	6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">成果向上の余地</td> <td style="text-align: right; background-color: #ffff00;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">近年、参加件数は微減しているものの、市民への認知、関心も高まっており、全体としては概ね順調と考える。今後は参加件数の増加に努め、事業を進めたい。</td> </tr> </table>	成果向上の余地	0 / 6	近年、参加件数は微減しているものの、市民への認知、関心も高まっており、全体としては概ね順調と考える。今後は参加件数の増加に努め、事業を進めたい。	
	成果向上の余地	0 / 6								
	近年、参加件数は微減しているものの、市民への認知、関心も高まっており、全体としては概ね順調と考える。今後は参加件数の増加に努め、事業を進めたい。									
④	成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A 2							
⑤	事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A 2							
効率性	⑥	事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A 2	6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">コスト削減の余地</td> <td style="text-align: right; background-color: #ffff00;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">以前、花壇コンクールを開催していたときは、賞状や賞品等のコストが発生していたが、オープンガーデンとわだでは、参加賞のみの配布でコストを削減している。</td> </tr> </table>	コスト削減の余地	0 / 6	以前、花壇コンクールを開催していたときは、賞状や賞品等のコストが発生していたが、オープンガーデンとわだでは、参加賞のみの配布でコストを削減している。	
	コスト削減の余地	0 / 6								
	以前、花壇コンクールを開催していたときは、賞状や賞品等のコストが発生していたが、オープンガーデンとわだでは、参加賞のみの配布でコストを削減している。									
⑦	他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A 2							
⑧	民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A 2							
公平性	⑨	受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	A 2	4	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">受益者負担適正化の余地</td> <td style="text-align: right; background-color: #ffff00;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">参加者及び観賞者は、広報、ホームページ、パンフレットにより広く募集しており、誰でも参加できる。</td> </tr> </table>	受益者負担適正化の余地	0 / 4	参加者及び観賞者は、広報、ホームページ、パンフレットにより広く募集しており、誰でも参加できる。	
	受益者負担適正化の余地	0 / 4								
参加者及び観賞者は、広報、ホームページ、パンフレットにより広く募集しており、誰でも参加できる。										
⑩	受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A 2							
現在の適性					20 / 20	改善の余地	0 / 20			

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **20** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **0** 点です。

【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

現状のまま継続

方向性の理由 ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

緑化の推進と意識の高揚を図るため、オープンガーデン、環境緑化まつり等、市民参加による緑と花のまちづくりを推進する。

今後の具体的な取組方策と狙う効果 ※事業終了年度がH27の場合は、『事業を実施したことにより今後見込まれる効果』を記載してください。